

刊夕日九月一



定額一冊五錢... 廣告料五號十二字... 印刷部 常磐毎日新聞社

大悟

眞繼雲山

夢から覺めた時のやうに豁然として大悟を得たいといふことは一步、佛道へ踏み入つた人々の切なる願求であり、目標でもある。併しさうした期待の必定して空しかるべきことは百年、河清を待つに等しいであらう。如何となれば本来、左様にして得べき『悟り』といふ何等の當體も無いからである。

悟りとは何ぞやといふにそれはつかみ得べき何物でもない。迷ひを拂ふたところを假りに悟りといふのである。

初湯

渡邊 何鳴

山柴のばちばち燃ゆる初湯かな
風花にそびきて出でし初湯かな
初風呂にとほその雪の消えにけり
つゝましく粧ふて來し初湯かな
雪の傘立て、初湯の戸口かな

からである。佛を見たいと思ふならば凡夫を見るがよい。その凡夫ならざるものが佛だからである。但し佛と凡夫とが二つ別々にあるのではない。凡夫の悟つたのが佛である。謂はゆる佛凡一如である。澁柿と甘柿とは別々の體ではない、澁柿の熟したものが甘柿である。煩惱と菩提とが二つ別々にあるのではない、煩惱散じて雨後天晴底の隔たりあるも、その體は一つであり、煩惱の種子なくんば菩提の果、開くるとなし、猶し水なくんば氷を見ざるが如し。

生死即涅槃といふは、死んだり生きたりの姿は、それがそのまま涅槃(悟り)の境地の一波紋であることを意味する。同じ筆法を以ていへば煩惱とは菩提境中の一波紋であり、これを煩惱即菩提と約す。迷ひは大悟の一

均大賣出

電二一四番

店頭十錢均一の山
是非御來店を...

マツモトヤの

片鱗といふに歸する。これを迷ご一如といふべし。酔つてゐるものと管を巻く男は酔つてゐる證據であり、モウ酔ひましたと恐縮する男は未だ酔はざるを示す。迷つてゐるものと感張る男は、それがそのまま凡夫の當然體であり、罪惡深重、煩のう具足の我れと知つた時が、佛の慈光に照らされた時である。深山に入りて『迷つてゐるな』と感づいた時は、迷路から一步轉出した時であり、その一念が正覺に到り得る迷ひて迷ひを知らざるが眞のまよひである。

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特卸治 福島縣平町五ノ廿八

約代理 志賀齒科醫院

販理療 福島縣平町白銀町九

賣部部 産婆 關口悦子

定價表
金拾參圓 藥及特効サツ五週間分付
金拾圓 藥上製桐箱入一揃
(説明書呈)

器灸温ムウチラ

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 醫學博士 難波睦
一般

電話五〇二番

サロンの黒ビール

レストラン サロン

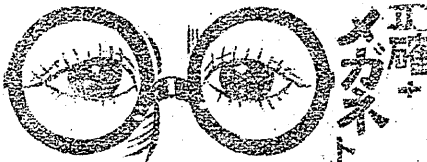
電三五二

冬服衒櫛

紺色柄物... 最新柄... 高級品... 平町正札堂洋服店 電四三六

眼鏡特賣

高級レンズ... 獨逸エーゾンネ光学工場製... 近視用... 學生向... 其他最新型各種... 各眼科院御用



専門 産婦人科 花柳病科

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

農作物の實收

前年に比較し 二割五分の減

石城郡農會では過般から農作物の實收について調査してゐたが本年は前年に比し二割五分の減收に加へ値安に崇られて農家は全く疲弊のどん底にタ、キ込まれてゐるとの事である

放牧地獎勵

田人村へ交付
石城郡田人村にては放牧地改良獎勵費を交付する、事となり其の整備工事を急いで居ると

三丁目役員

新年宴で改選

平町三丁目にては去る七日谷口にて盛大な區民の新年宴會を開き役員を左記の如く改選した

- (第一組長) 高野虎三郎
- (第二組長) 柏原幸次郎
- (第三組長) 小鍛冶兼吉
- (第四組長) 篠原留吉

暖かさに

悲喜両面

春だー昨日は春雨がそぼ降つたー狂ひ天氣だー街頭のそゞろ歩きもオーバーが襟巻が消しとんで、お

山田忠太郎、小野伊佐治(縣社世話人)永木八五郎(衛生區長)佐々木喜代治

水道滞納競賣

平町水道課では昨年中の水道使用料金滞納者卅一名の差押物件を十八日午前十時より同所に於いて競賣に行ふ事になつた

受検米が益々増加

一般に趣旨徹底

平穀物検査所で取扱つた昨年十二月中の生産米検査数は三等三十二俵、四等二百八十九俵、五等千七百四十五俵、等外千五百七十七俵合計三千六百四十二俵に及び五年度検査數二千八百三十二俵より八百十俵の多數に上つて居るがこれは検査を受けねば取引に損を招く事が一般に徹底し管内農家は競つて検査を受ける様になつた結果である

本年徴兵検査を

受くべき平の壯丁 總數百五十二名

行衛不明が六名ある

平町の本年度徴兵検査を受くべき壯丁は左の百四十七名であるが其他昨年疾病在學等の爲め今年に延期された者が四十五名にて合計百五十二名であるがそのうち疾病者三名、所在不明が六名ある

- 名ある由因に壯丁氏名左記の如くである
- 松本繁雄 佐々木喜久藏
- 山田正一 島崎高巳 志賀裕平 木澤仁平 矢吹大一郎 白土長太郎 鎌倉勇四郎 端山幸男 原

平町の本年度徴兵検査を受くべき壯丁は左の百四十七名であるが其他昨年疾病在學等の爲め今年に延期された者が四十五名にて合計百五十二名であるがそのうち疾病者三名、所在不明が六名ある

え、もうこちらは御覽の通り目もあてられませぬ。

と山の様に積まれたシャツ類を指さして中央の某洋品店の番頭さんはオロオロ

うろこの様、傾みかさねら

を行ふことに決し近く縣に對しサンドボンプの無償貸付方を交渉することゝなつた

永戸製炭講習

石城郡永戸村農會では八日午後一時より同村字合戸松崎菊彌方に於いて濱三郎木炭同業組合の指導員鈴木良七氏を講師として製炭事業の講習を行つた

縣主催校長會

縣主催による小學校校長會は廿日より廿八日迄縣下四ヶ所に開催されるが濱通り石城双葉相馬の三郡は廿七、廿八の兩日平第一小學校に催され主にも學校衛生に關する問題を協議すると

- 田宗三郎 古川克己 高木芳久 佐々木左久三 淺井惠三男 佐藤武一郎 大塚三郎 山部禎治 吉田芳三 浦井豊 中澤金方 柳下重男 水竹又四郎 大塚千代吉 横内直中 三浦和夫 鷲廣次直壁勝榮 長谷川忠雄 椋木三郎 小野寺文平 小林辰男 高久孝 鈴木武久 川口源平 永野寅雄 鈴木雄四郎 永澤正雄 渡邊正雄 小泉潤次 新妻二郎 遠藤隆 大村耕四郎 柏原正一 馬目次郎 渡邊英治 谷口武久 吉成清之助 加藤末吉 近藤屋 阿部源太郎 大谷敏雄 七井三郎 増尾正一 大津賀文吉 佐藤松雄 江尻一郎 西片富治 松崎喜一 林壽郎 佐藤正良 内田恕孝 丹野環 丹野孝吉 鈴木文雄 藁谷吉雄 藁谷高一 藤橋武夫 佐藤文平 海老根直人 新妻直正 渡邊忠夫 穴澤正明 會川正雄 菅野稻藏 渡邊武久 大野末七 酒井孝一 岡部敬介 小野晃作 大垣勇二 太田大造 林三郎 矢部繁二 佐藤信一

れた赤足袋、白足袋、青足袋の群が温かい人間様の足戀しさに窒息的沈黙になつてゐる。

ところが悲哀の反面には喜悅がある。今日此頃の喫茶店、カフェーの繁昌は又素晴らしい。春のめざめにそゞろ歩きの散策者が軽い

いと。

青木清香 田中新吾 友正一 鈴木定雄

鮫川堰の復活

石城郡鮫川堰普通水利組合では七年度から疏水路復活工事を起すべく先づ九千圓の豫算で詳細な設計書を作製する筈で組合員も疏水路復活の實現近づいた事を喜んでゐる

平町人事

- △三丁目當時茨城縣多賀郡 助川町宇天王町佐藤甚七氏長女信子
- △一丁目當時茨城縣多賀郡 助川町四百九十荒川彌太郎氏三男光雄
- △田町一六 古田部貞一氏 長男貞雄

駒込館

一泊金一圓八十錢 (但シ二食附)

電話(小石川)三一六五番

東京市本郷駒込追分町

(茶代不用)

上野驛ヨリ(自動車約二分 電車約十五分)

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス 磐城セメント株式会社 代理店 西村屋薬舗 平町二丁目電三

飯野村は 地下採掘に同意

正式契約を取交す

石城郡飯野村では昨年來問題再燃した磐城炭礦の地下採炭に就いて伊藤村長以下各有力者が數次會合對策を練つた結果愈々採炭承認の意向に定まり七日も村内有力地主の顔合せを行ひ協議の末、村發展の利害採算上斷然同様な方針を申合せたもの、如く近く同礦々業所と正式契約を取交す事となつ

平驛前に 人の山

今朝の盛観
入營者の歡送に

今朝八時頃の平驛前は若松其他へ入營すべき軍人の見送で人の山を築き數十流の歡送旗が朝風にはためいて非常な盛観を呈したが平町からの入營者氏名左記の如くである

- (十五丁目) 岩崎達雄 材木 和田國雄(仲間)倉島一郎 (長橋) 長谷川惣次郎(鎌田)吉村榮助(紺屋町)高橋正(立町)船山孝次(紺屋)高木清一(下川前)木村忠雄(古鍛冶)蓬田義(紺屋町)圓谷定一(搔植小路)松本義雄(南町)菊地二次(材木町)菜花茂(仲間町)佐藤二郎(白銀)小林重孝(長橋)菅野淺雄(田町)大島熊一

卓球選手権

神谷校で競技

石城郡神谷村小學校卓球部主催の隣町卓球選手権大會は十七日午前九時より同小學校に於いて催される

寒稽古始まる

平署が明日から

平警察署の寒稽古は十日より二週間同署武道場に開かれる事になつたが署員以外に一般希望者の出場も歓迎すると

昨夜の商友會

昨報平商友會新年宴會は昨日午後九時から谷口樓に開催、谷口會長の挨拶に次いで吉田平商校長の祝辭あり名譽會員として新任教諭を紹介し宴に移り會員の隠し藝披露等あつて盛況を極めた

自轉車で傷害し

逃走の際取押へらる

石城郡湯本町三箇二鈴木春吉の三男道男(八)は八日夜八時頃自宅前で遊戯中自轉車を疾走し來つた同町八仙木村喜代治(三)に衝突し飛ばされ右足及び腹部等に裂傷を負はされたが喜代治は知らぬ振りて其處逃走せんとしたのを被害者の兄一が自家の自轉車で追跡して取押へ其筋へ突出したと

火防旗行列

湯本の宣傳

石城郡湯本町消防組では十

千圓で同町堀江工業が工事を請負ひ來る十日着工三月末日竣工開設の運びとなつた

女風情が 何小癩など

泥酔漢が亂暴

石城郡飯野村字下荒川柿崎太吉(三)は七日夜八時頃平町の處用の歸途泥酔して鹿島街道を通行中同じ道で一所になつた豊間村字薄磯のボケ賣金成トメ(三)に冗談口をきいた處トメに云ひ負かされて癪にさはり同人の顔面を毆打したので大立廻りを初めたがトメはどちらが悪るいかに聞いて貰はうと正體も無く酔ひしれた太吉を平署に連込んだので太吉は散々油をしぼられて引下つた

銃後の温き 眞心を贈る

石城郡人聯合分會では郡下からの出身將士の家庭の生活程度を詳細調査し、さきにつのつた慰問金の送金残りその他でこの舊正月前に金一封づゝをこれ等留守宅に送り銃後のあたゝかき眞心で楽しい越年正月をむかへさせるとなつた

健康相談所

二十日起工 簡易保

平局の健康相談所は不況による解約續出等から實現を危ぶまれながら幸ひに斷行に決定し今回漸く同町田元羽岡醫院跡空地を敷地に定め地主堀江正直氏との間に正式契約書を取交したが愈々工費六

明日のラジオ

今日も明日も南西の風晴

ユース 氣象通報 番組豫告

明日の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 後六、一〇 愛國第一號
- 後六、二〇 愛國第一號
- 後六、三〇 愛國第一號
- 後六、四〇 愛國第一號
- 後六、五〇 愛國第一號
- 後七、〇〇 愛國第一號
- 後七、一〇 愛國第一號
- 後七、二〇 愛國第一號
- 後七、三〇 愛國第一號
- 後七、四〇 愛國第一號
- 後七、五〇 愛國第一號
- 後八、〇〇 愛國第一號
- 後八、一〇 愛國第一號
- 後八、二〇 愛國第一號
- 後八、三〇 愛國第一號
- 後八、四〇 愛國第一號
- 後八、五〇 愛國第一號
- 後九、〇〇 愛國第一號
- 後九、一〇 愛國第一號
- 後九、二〇 愛國第一號
- 後九、三〇 愛國第一號
- 後九、四〇 愛國第一號
- 後九、五〇 愛國第一號
- 後十、〇〇 愛國第一號
- 後十、一〇 愛國第一號
- 後十、二〇 愛國第一號
- 後十、三〇 愛國第一號
- 後十、四〇 愛國第一號
- 後十、五〇 愛國第一號
- 後十一、〇〇 愛國第一號
- 後十一、一〇 愛國第一號
- 後十一、二〇 愛國第一號
- 後十一、三〇 愛國第一號
- 後十一、四〇 愛國第一號
- 後十一、五〇 愛國第一號
- 後十二、〇〇 愛國第一號
- 後十二、一〇 愛國第一號
- 後十二、二〇 愛國第一號
- 後十二、三〇 愛國第一號
- 後十二、四〇 愛國第一號
- 後十二、五〇 愛國第一號

今日晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 後六、一〇 愛國第一號
- 後六、二〇 愛國第一號
- 後六、三〇 愛國第一號
- 後六、四〇 愛國第一號
- 後六、五〇 愛國第一號
- 後七、〇〇 愛國第一號
- 後七、一〇 愛國第一號
- 後七、二〇 愛國第一號
- 後七、三〇 愛國第一號
- 後七、四〇 愛國第一號
- 後七、五〇 愛國第一號
- 後八、〇〇 愛國第一號
- 後八、一〇 愛國第一號
- 後八、二〇 愛國第一號
- 後八、三〇 愛國第一號
- 後八、四〇 愛國第一號
- 後八、五〇 愛國第一號
- 後九、〇〇 愛國第一號
- 後九、一〇 愛國第一號
- 後九、二〇 愛國第一號
- 後九、三〇 愛國第一號
- 後九、四〇 愛國第一號
- 後九、五〇 愛國第一號
- 後十、〇〇 愛國第一號
- 後十、一〇 愛國第一號
- 後十、二〇 愛國第一號
- 後十、三〇 愛國第一號
- 後十、四〇 愛國第一號
- 後十、五〇 愛國第一號
- 後十一、〇〇 愛國第一號
- 後十一、一〇 愛國第一號
- 後十一、二〇 愛國第一號
- 後十一、三〇 愛國第一號
- 後十一、四〇 愛國第一號
- 後十一、五〇 愛國第一號
- 後十二、〇〇 愛國第一號
- 後十二、一〇 愛國第一號
- 後十二、二〇 愛國第一號
- 後十二、三〇 愛國第一號
- 後十二、四〇 愛國第一號
- 後十二、五〇 愛國第一號

植田水電總會 石城郡植田町植田水力電氣會社第二十四回株主總會は來る二十三日午前十時より同會社に於いて開催された

磐東銀行配當 石城郡植田町磐東銀行總會は廿三日開き六年下半期決算報告をなすが配當は年八分

常磐出炭減少 常磐各産煙炭の歷年度による昨年中の出炭高は二百一十一萬四千九百九十三噸で五年度に比し十八萬三千噸の減少である

平第二慰問金 平町第二小學校の職員及び生徒有志は在滿出征兵の慰問金

平職業紹介所報告

求職之部

- △女中 廿才、尋卒(赤井村某)
- △自動車助手 一九才、高卒(鹿島村某)
- △女店員 廿四才、高卒(小川村某)

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電話一七〇〇

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六・〇〇

半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を

大塚支店製靴部 電話七七番

時計眼鏡

トキワヤ

平一電三三九

大和町醫院

平町南町 電話一七〇〇

小説 七面鳥

【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫



怪しの手紙 (10)
 郁子は黙つて考へ込んだ少頃してから高野はなめしの巻篋入を出して
 『奥さん一喫召上りませんか』
 『あゝ』
 郁子はふいと顔を上げて金口を一本抜取つた、そして大きな溜息をついた
 『なかに、ようがすよ、奥さん川島が居なくつたつて敵の對抗運動ぐらゐは私一人で引受けたいします』
 高野は斯ういつて蠟マツチをばつと擦つた、そしてそれを郁子の口許へ持つていつた時に、薄化粧の妖艶な女の顔がやゝあぼばんだ光をおびてぼうと淡火に映つた刹那に高野は襲はれた様にぶる／＼と身ぶるひした

『ねえ、高野その親族會議といふのは壽屋が發金で開かれるものとすると一体どんなことを相談するつもりなんたらうね、お前はそれについて如何考へてゐるかと』
 郁子は淡白い煙を鼻先に匂はせて、恚う問ひかけた、高野は怪しう胸のときめいた夢のやうな気分を少しと我に復つて

左様で御さいますな、第一に起る問題は負債をどう整理するか、如何して差押へを解くか、破産を免れるかといふこととせう、是は一番困難な暗礁でして、どんなに智慧を絞つても恐らく名案を得ずし有耶無耶に終

ることは分てゐます』
 恰も辯護士かなんぞのやうに
 『それは然うよ、親族といつたつて木場の壽屋と、それから大坂の藤田と、浅草の松屋くらゐのもんだものね、そのなかで壽屋だけは市會議員をやつてゐるだけ

に小理はいふけれど、今度材木で思惑違ひをしてすつかり痛手をうけた矢先だしお色の問題になつたらグーの音も出さぬしと思ふわ、外の二人だつて恚うといふ財産のある人ぢやないんだから駄目よ』
 『然うですとも、何しろ色高が張つてゐるんですからね皆な寄つてたかつて無けし身代をふるつたところでもし、みの方さへひです、それに銀行もブロッカーも最う相手にしません』
 『つまり破産ね、でも川島の弱点を捉まへてゐるさう

うにしてゐた、郁子はそれを知つてゐるので、小間使のお竹がもたらして来た報告などおくびにも出さなかつた
 高野は大のみ込の体にて『なかに、そんな事があるもんですか、談合有つたにしたらとて、彼等が何を爲得るもんですか、それは大丈夫ですが懸念に堪へないのは御主人、御主人に第一のことが有つた場合を豫想して貴女を離縁することに決定しないとも限らない、それで、御承知の通り若主人も千代子さんもまた壽屋さんも貴女に對して決して好感を持つては居ませんからね、此機會に舉つて貴女を排斥するだらうと思ひますよ、すると貴女はどうなさいます』
 『離縁、結構、出てゆけといふなら願つたり叶つたりよ』

淋病 淋病 皮膚病 婦人病
梅毒 梅毒 胃性病
門專 傷病 腸病
院醫科 院醫科
 電話一七〇

市原醫院
 平町 田町
 電話一四四番

美味！ 芳醇！
宗正らひた
 山崎合名會社
 電話一〇番

貸切は
 セダン揃ひで
 貸切専門の
昭和タクシー
 電話三四三三

鳥肉界の王
七面鳥 (百々七〇錢)
 ◎肉は軟くして美味
 多少に不拘是非御用命下さい
 平田町搔樋小跡
鈴木鳥肉店
 電話六五四番

りん病 永らく悩む人の福音
 こしけ 天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任薬
岩別府
 全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推奨 講談俱樂部、主婦之友廣告御參照
 古は岩里家古來よりの家傳秘法薬にして男女血らし慢性淋病、こしけ、渦渦の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸障害なき各薬であります。
 尚ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は殘薬引換に全部異議なく返金します。
 論より證據服薬した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
 回美本淋病治療書無代進呈(此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送薬す。
 代金引換廿三錢手数料金納の事。
薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
 慢性用(赤箱) 一週分 五圓
 平町古鍛冶町一〇
阿康藥舖
 特約一 手販賣
 縣社ノ下(電話四四四番)

印刷物の御用命
印刷日每警常
 電話三六〇番

井 の 手切商品
 電話三八三番